

2021年度 認定こども園教育・保育要録に基づく 施設関係者評価

【まとめシート】

＜自己評価＞ 及び ＜公開保育＞

所属 [学校名、機関名、法人・園名等]		園長名	作成日
社会福祉法人照治福祉会 清水認定こども園		前田 敦子	令和4年3月9日
評価の記録			
	評価者A/B	評価者C	評価者D
良い点	<ul style="list-style-type: none"> 育ってほしい姿、付けてほしい力を明確にし、具体的な教育活動、保育活動に反映されていること、また、実践の振り返り、課題整理、改善など、意識的に取り入れ教育、保育の質の向上に努めていること 一人ひとりの子どもの気持ちを大切に受け止め丁寧に保育展開をしていること 計画性を持ちながらも子どもの活動の様子等を加味しながら、柔軟に対応し応答性のある保育であること 子どもの姿を前向きにとらえていること 子ども自身が自ら考え選択し、主体性を生み出す加わりを追求していること 的確な細やかな気配りがされている。「待つ」「聞く」姿勢が再確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策や子どもたちの健康管理に十分配慮し各保育室の管理が徹底されて安心して預けられると思う。 園舎もほぼ出来上がり4月から楽しみである。 各個人個人に返事し対応しており気長く、個々の意見を聞いている保育者が素敵だった。 全員を平等にしているのが、とてもよかった。 今が一番大事な年齢であり、小学校に進学すると、また教育方針が変わるので、今は自由にさせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが人の意見を聞く姿勢があり、人の意見を聞かずにすぐ口に出してしまうのではなく、手をあげて待つことをしているのが良かった。自分の意見を言って満足ではなく、友達の意見を聞いて考え次々に新しい意見が出て考えることを大切にしたい聴き方が良かった。 子どもの主体性を大切に、気持ちに寄り添う方針を意識して実行していた。 大人が主導権を持つ教育保育でないことが十分感じることができた。一人ひとりを人として平等に接している。 見守る保育が子どもたちの考えや行動に自信を持たせているように感じた。
改善点	特になし	今回卒園する子どもたちはコロナ禍で3年過ごすことになり本当に窮屈な保育環境だったろうが、それでも十分に楽しめるようにお願いしたい。	園建て替えでお散歩や広場でたくさん遊んでいたが、他園と違い1号認定が多いため、遊びの時間のちがいがからか、体力面の差を感じる。子どもの体力の増進に期待したい。
更に期待する点	<ul style="list-style-type: none"> ”あそびは学び” 幼児の主体は遊び(生活)を通して育まれる”主体的、対話的、深い学びが生み出される教育保育を今後も貪欲に追求し、子どもが子どもらしく、いきいきと輝ける園であってください。 異年齢保育で育まれる力、各学年の発達保障、両者のバランスを考えた保育の追求 今後も一人の子どもの持ち味を極め、事故発端しながら、園生活を送り、その子どもなりの主体性が育つような保育展開を若手職員を巻き込み実践されることを願っている。 	コロナ収束後は、出来なかった行事がたくさんあると思うので、思い出作りに園児とともに楽しめる行事を期待する。協議会でも各行事に必ず参加してもらうよう依頼していくので参加をお願いしたい。	園庭が整備されたら、菜園活動など野菜を育てる難しさ、楽しさに興味を持てるような活動を充実してほしい。公開保育がとてもよかったので、少人数ずつでも保護者向けに開催してもらえれば、園の目指す教育保育理念の理解が深められると思う。園の方針をすべての先生が実施できるよう資質向上をお願いしたい。
その他	園長はじめ職員が子どもたち自らの気づき、心の揺れ動き、子どものする遊びや活動、仲間関係などに寄り添い、見守りときにわくわくしながら、受け止めている園の温かな雰囲気がとても素敵である。自己評価に記載していたように子どもの前に立つものとして「ひととしての人間性を高めていく」この言葉に尽きると改めて感じる。	特になし	多感な時期の子どもたちなので、コロナ禍が収まれば、人、ものとの触れ合いをもっと深めていってほしいと思う。
評価を受けて	近隣の小学校の校長先生、地域協議会の委員長さんなどから意見をいただき、幼少連携、地域とのつながりを今後も深めていきたいと感じている。コロナ禍の中、閉鎖的になっていた分、落ち着いたら、交流会など人との結びつきが広がるよう努めていきたい。	有識者(幼稚園教諭)の観点から、端的なご意見をいただき、改めて教育保育のあり方、異年齢児保育の良さや盲点などに気づくことができた。各年齢の育ちを踏まえながら、特性のある子、支援の必要な子など様々な育ちの面をどう助けていくか、さらに深めていく機会を得た。頂いた意見を参考に会議でも話し合っていく。	保護者の目線から感じる意見をいただき、園の教育保育の理念方針について理解を深めたように感じる。保護者には保育参加といった形で参加していただいているので、客観的に見ることでより伝わりやすいことが分かった。今後、運営していく上でどのように取り組んでいくか精査していきたい。